

介護福祉士国家試験の出題範囲等の 在り方に関する検討会開催要綱

1 趣旨

平成 27 年度（第 28 回）試験から、実務者ルート受験者に実務者研修が必須となり、養成校ルートでも国家試験受験が義務付けられるなど資格取得方法の変更が行われ、介護福祉士養成課程のカリキュラムに医療的ケアが追加される。

これらの制度改正を踏まえ、介護福祉士資格取得に相応しい知識及び技能を確認するための出題範囲や実技試験の在り方等について検討する。

2 検討会メンバー

本検討会は、有識者で構成する。（別添）

3 検討課題

- （1）養成課程の見直しを踏まえた対応
 - ・ 出題の基本的な考え方
 - ・ 医療的ケアなど出題範囲の見直し 等
- （2）試験問題の質の向上 等
- （3）資格取得方法の見直しを踏まえた対応
 - ・ 実技試験の在り方
 - ・ 試験日程 等

4 スケジュール

第 1 回を 7 月に開催、以降数回程度開催し、秋を目途にとりまとめ（予定）

5 その他

- （1）本検討会は、社会・援護局長の検討会とする。
- （2）本会議の運営にかかる庶務は、社会・援護局福祉基盤課が行う。
- （3）本検討会の議事は、非公開とする。報告書は後日公開する。

(別添)

介護福祉士国家試験の出題範囲等の
在り方に関する検討会構成員名簿

朝倉 京子	東北大学大学院医学系研究科教授
太田 貞司	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉研究科教授
川井 太加子	桃山学院大学社会学部教授
北村 聖	東京大学医学教育国際協力研究センター教授
久保田トミ子	合同会社和の会代表 (前介護福祉士国家試験委員副委員長)
田中 由紀子	日本社会事業大学社会福祉学部准教授
根本 嘉昭	桃山学院大学社会学部教授
藤井 賢一郎	上智大学総合人間科学部准教授
本名 靖	東洋大学ライフデザイン学部教授

(五十音順、敬称略)